

令和7年度庄原市特別支援教育支援員・学校司書研修会

＜令和7年4月4日（金） 庄原市総合体育館 会議室＞

【研修の目的】

- 庄原市職員としての服務規律について理解する。
- 特別支援教育支援員は、研修を通して資質の向上を図るとともに、児童生徒一人一人の障害の状態や発達段階に応じたきめ細やかな指導や必要な支援の充実を図る。
- 学校司書は、学校図書館の活用について研修を行うことにより、資質を向上させ児童生徒の読書活動の充実を図る。

【講話】「服務規律について」

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 学事係 管理主事 賀島 直弥

- ◆公務員及び教職員として、法令法規を遵守して勤務することについて、法令に基づき確認した。
- ◆不祥事防止に関わり、事例を挙げて協議を行った。

◇「参加者の振り返り」より

- ・「自らも過ちを起こしうる存在」という意識をもつことが大切だと思った。
- ・演習があり、具体的にイメージできた。基本的な心構えや自己の責任等も理解することができた。



【講話・協議】「特別支援教育支援員について」（対象：特別支援教育支援員）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係 指導主事 福原 理恵

- ◆特別支援教育は、障害のある児童生徒一人一人の自立を目指し、障害による困難の克服・改善のために、教育的ニーズに応じた適切な指導及び必要な支援を行うものであること等を確認した。
- ◆今後の支援の参考となるよう、日頃の支援において留意していること等について、各校の実践を支援員同士で交流した。

◇「参加者の振り返り」より

- ・児童とじっくり話をし、行動を観察し、その児童に本当に必要な支援をすることの大切さを改めて感じた。
- ・経験の少ない方へ具体的な例をお話することができた。力になれてよかったし、自分も自己の支援を振り返ることができた。



【講話・協議】「学校司書について」（対象：学校司書）

庄原市教育委員会 教育部 教育指導課 指導係 指導主事 延近 恵

- ◆学校図書館の機能や、学校司書の法的位置付けを確認するとともに、学校司書に求められる資質・能力について協議した。
- ◆「広島県子供の読書活動推進計画（第五次）」をもとに、県の重点施策を確認した。



◇「参加者の振り返り」より

- ・学校司書に求められている資質・能力に関しても、まだまだ足りないことがあることに気付いた。これから勉強していこうと思った。
- ・学校の読書活動計画等を知り、児童とのコミュニケーションを通して、一人でも多くの児童が本を好きになるよう努めていこうと思った。